

IV. 平成 28 年度決算の概要

本学園の決算の概要は以下のとおりとなった。

1. 資金収支計算書

【収入の部】

ア. 学生生徒納付金収入

大学では新入生の増加により、納付金全体で 27 年度 4,150,487 千円から 28 年度 4,179,273 千円で 28,786 千円(0.6%)の増収、短大では 27 年度 615,939 千円から 28 年度 609,161 千円で 6,778 千円(1.1%)の減収となった。

高等学校・中学校では 27 年度 1,770,618 千円から 28 年度 1,658,493 千円で 112,125 千円(6.3%)の減収となった。

小学校では 27 年度 249,812 千円から 28 年度 213,968 千円で 35,844 千円(14.3%)の減収になった。

イ. 手数料収入

大学では 27 年度 86,827 千円から 28 年度 95,036 千円で 8,209 千円(9.4%)の増収、短大でも 27 年度 11,653 千円から 28 年度 13,733 千円で 2,080 千円(17.8%)の増収となった。

高等学校・中学校では 27 年度 19,764 千円から 28 年度 17,622 千円で 2,142 千円(10.8%)の減収となった。

小学校でも 27 年度 1,480 千円から 28 年度 1,260 千円で 220 千円(14.8%)の減収となった。

ウ. 寄付金収入

四天王寺大学創立 50 周年・四天王寺大学短期大学部創立 60 周年への寄付金や後援会、その他に一般寄付金などとして、全体で 183,821 千円になった。

エ. 補助金収入

全体では、前年度に比して 5,785 千円の減収になった。部門毎では、大学・短大において、27 年度 324,883 千円から 28 年度 359,980 千円で 35,097 千円 (10.8%) の増収となった。

高等学校・中学校では 27 年度 977,826 千円から 28 年度 942,412 千円で 35,414 千円 (3.6%)の減収になった。

小学校でも 27 年度 75,001 千円から 28 年度 69,533 千円で 5,468 千円(7.2%)の減収になった。

オ. 付随事業・収益事業収入

補助活動収入は、279,816 千円になり、16,109 千円(6.1%)の増収になった。

カ. 受取利息・配当金収入

受取利息・配当金収入は、413千円で117千円(22.0%)の減収となった。

キ. 雑収入

主に、退職者に対する私学退職金財団からの交付金収入で、大学・短大では10名、高校・中学では12名、小学校では2名の計342,087千円となった。

全体では前年度に比して37,714千円(10.4%)の増収になった。

ク. 前受金収入

平成28年度中に29年度新入生・編入生・転入生から徴収した入学金(大学1,111名・短大287名・高中749名・小学校44名)、授業料等(大学1,068名・短大289名)学費、その他前受金も含めて、27年度1,288,093千円から28年度1,382,184千円で94,091千円(7.3%)の増収となった。

【支出の部】

ア. 人件費支出

教員人件費では27年度3,890,402千円から28年度3,802,797千円で87,605千円(2.3%)の減少となり、職員人件費は27年度1,363,353千円から28年度1,384,957千円で21,604千円(1.5%)の増加になった。

全体では、27年度5,738,064千円から28年度5,729,277千円で8,787千円(0.1%)の減少となった。

イ. 教育研究経費支出

27年度1,510,096千円から28年度1,497,003千円で13,093千円(0.8%)の減少となった。

ウ. 管理経費支出

27年度882,124千円から28年度909,968千円で27,844千円(3.1%)の増加になった。

エ. 借入金等利息支出・借入金等返済支出

都市銀行からの借入で、借入金等利息39,148千円、借入金等返済225,000千円の支出を計上している。

オ. 施設関係支出

27年度1,071,654千円から28年度660,973千円で前年に比して410,681千円(38.3%)の減少となった。今年度の支出の主な内訳は、四天王寺学園小学校体育館建築費用の計上である。

カ. 設備関係施設

27年度 398,011千円から28年度 171,048千円で226,963千円(57.0%)の減少になった。減少の主な要因は、27年度は四天王寺大学総合体育館の備品購入や各教室のAV機器の入替を実施したためである。

キ. 資産運用支出

特定資産へ繰入等、資産運用に係る支出で、本年度は1,597,724千円となった。

2. 事業活動収支計算書

【経常収支】教育活動・教育活動外収支

学生生徒等納付金、手数料、経常費補助金等の教育活動収入計は、8,876,487千円となり、前年比で150,573千円(1.6%)の減収となった。人件費、教育研究経費、管理経費等の教育活動支出は8,963,229千円となり、前年比で65,408千円(0.7%)の減少となった。教育活動収入計から教育活動支出計を差引いた教育活動収支差額は、△86,741千円となった。

一方、受取利息・配当金等の教育活動外収入計は、413千円となった。借入金等利息等の教育活動外支出計は39,148千円となった。教育活動外収入計から教育活動外支出計を差引いた教育活動外収支差額は△38,735千円となった。

結果、教育活動収支差額と教育活動外収支差額を合算した経常収支差額は、△125,476千円となった。

【特別収支】

施設設備に係る現物寄付や補助金等の特別収入計が14,736千円となった。特別支出計は2,042千円となり、特別収入計から特別支出計を差引いた特別収支差額は、△12,694千円となった。

【基本金組入前当年度収支差額・当年度収支差額・翌年度繰越収支差額】

経常収支差額と特別収支差額を合算した基本金組入前当年度収支差額は、△112,782千円、基本金組入額は853,883千円となった。

基本金組入前当年度収支差額から基本金組入額を差引いた当年度収支差額は、△966,665千円となった。その結果、前年度繰越収支差額を足した翌年度繰越収支差額は、△17,018,157千円となった。

3. 貸借対照表

資産の総額は51,120,161千円で、前年比では384,023千円(0.7%)の減少になった。内訳として、固定資産である土地、建物、備品、図書等の有形固定資産では255,765千円(0.6%)の減少の39,344,525千円となり、特定資産では97,590千円(1.4%)の減少の6,469,417千円、その他の固定資産でも180千円(0.1%)減少の112,099千円となった。また、流動資産である現金、預金、未収入金等は30,487千円(0.5%)の減少の5,194,119千円となった。

一方、負債の総額は6,781,593千円で、前年比では271,241千円(3.8%)の減少となっ

た。内訳として、固定負債である長期借入金、退職給与引当金などが 353,954 千円(6.9%)の減少の 4,732,595 千円となり、流動負債である前受金、未払金などは 82,713 千円(4.2%)の増加の 2,048,998 千円となった。

基本金は 61,356,725 千円で、前年比では 823,444 千円(1.3%)の増加となった。

以上の結果、資産の部合計から負債の部合計を控除した純資産の部は前年度より、112,782 千円(0.2%)の減少となった。

4. 財産目録

資産の総額は 51,120,161 千円で、前年比では 384,023 千円(0.7%)の減少になった。内訳として、基本財産である土地、建物、備品、図書等では 255,765 千円(0.6%)の減少の 39,350,034 千円となった。運用財産である現金、預金、未収入金、減価償却引当特定資産等は 128,258 千円(1.0%)の減少の 11,770,127 千円となった。

負債の総額は 6,781,593 千円で、前年比では 271,241 千円(3.8%)の減少となった。内訳として、固定負債である長期借入金、退職給与引当金などが 353,954 千円(6.9%)の減少の 4,732,595 千円となり、流動負債である前受金、未払金などは 82,713 千円(4.2%)の増加の 2,048,998 千円となった。